

事業団体連合会と日本鳶工業連合会が実施しているもので、今回は32人が受講した。10日の更新講習には資格取得後5年が経過した90人が参加した。

登録鳶・土工基幹技能者講習は2日間で10時間の講義を実施。その後、27問(4者択一方式25問、記述式2題)の試験を行い、それぞれの得点が60点以上であれば合格となり、修了証が交付される。更新講習では3時間の講義後に14問(4者択一方式12問、記述式2題)の試験を実施。不合格となつた場合はリポート提出による救済措置が適用される。

9日の開講式では冒頭、山本理事長が「登録基幹技能者については、元請の多くがインセンティブを設けており、建設キャリアアップシステムでは最上位の技能者として評価される。ぜひ資格を取得してもらい、作業所の要として現場をまとめてもらつとともに、自らのスキル向上と若手の育成に取り組んでほしい。全員合格されることを願つている」とあいさつした。

この後、講師の立岩和夫氏(山岡建設)、芝本博司氏(吉川組)、福原幹夫氏(オカモト・コンストラクション・システム)、渕上昌彦氏(北口工務店)、樋口隆生氏、向井尚人氏(吉岡建設)が2日間にわたって基幹技能者の在り方や工



理、品質管理、資材管理、関連法規などを説明した。

登録鳶・土工基幹技能者 資格取得へ32人が受講

近畿建設躯体工業協同組

合(山本正憲理事長)は、9~10日の2日間、大阪市中央区の大坂キャッスルホテルで登録鳶・土工基幹技能者講習を開いた(写真)。

新規に資格取得を目指す人を対象に、日本建設躯体工